

(様式2)

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：地域連携部

## 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（鈴鹿市御園町1669番地） 三重交通G スポーツの杜 伊勢（伊勢市宇治館町510番地）
指定管理者の名称等	三重県体育協会グループ 代表者 公益財団法人三重県体育協会 理事長 東地 隆司 （鈴鹿市御園町1669番地 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿内）
指定の期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	① 事業実施に関する業務 ② 施設等の利用の許可等に関する業務 ③ 利用料金の收受等に関する業務 ④ 施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ⑤ 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿及び三重交通G スポーツの杜 伊勢の管理上必要と認める業務

## 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H26	B		指定管理者として効率的な管理運営を図るため、県内競技団体と利用調整会議を適切に行っている。 大会開催においても、県内競技団体と包括的に連携を行っている。 専門的技術・知識を習得するための人材育成や維持管理経費の節減、新規利用者確保に向けた広報活動を実施している。 利用者のニーズ等を把握し、サービス向上に努めており、県民が気軽にスポーツに親しむことができる施設としての機能を確保するとともに、独自に施設修繕や備品整備を実施し、利用者への利益還元を行うなど、良好な施設環境の提供に努めている。
H27	A	-	
H28	B		
H29	B		
H30	B		

## 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H26	B		休業日の縮小及び営業時間の延長を行い、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。 広報誌、新聞等のメディアを活用したPR活動を行い、スポーツ教室の充実や施設の無料開放イベントなどの自主事業を開催するなど、積極的な経営努力を行い、多くの県民が利用しやすい施設となるよう機能向上が図られている。
H27	B		
H28	B		
H29	B		
H30	B		

## 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	1,891,078,621	事業費	225,705,408
利用料金収入	695,385,245	管理費	2,564,273,715
その他の収入	307,808,599	その他の支出	38,799,152
合計 (a)	2,894,272,465	合計 (b)	2,828,778,275
収支差額 (a)-(b)	65,494,190		

※参考

利用料金減免額		15,608,985
内訳	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	15,101,885
	三重交通G スポーツの杜 伊勢	507,100

## 5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標(下段カッコ書き)及びその実績(上段)					
			成果目標項目	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H30実績値
H26	B		三重交通G スポーツの杜 鈴鹿利用者数	488,845人 (490,600人)	462,461人 (445,900人)	500,926人 (510,400人)	464,068人 (520,600人)	583,958人 (531,000人)
H27	B	+	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿大会数	399回 (400回)	406回 (388回)	390回 (400回)	406回 (400回)	492回 (400回)
H28	B		三重交通G スポーツの杜 伊勢利用者数	350,927人 (364,100人)	341,069人 (317,900人)	308,001人 (169,500人)	342,241人 (300,400人)	556,801人 (394,000人)
H29	B		三重交通G スポーツの杜 伊勢大会数	322回 (300回)	322回 (300回)	337回 (196回)	422回 (311回)	425回 (300回)
H30	B							
全期間におけるコメント								
<p>目標を達成できなかった年度もあるが、各種競技団体との調整を行い大会の開催及び誘致に努め、利用者のニーズを把握したスポーツ教室ほか自主事業を充実させるなど、一定の成果は残している。指定管理期間の最終年度である平成30年度は、両施設とも全国高等学校総合体育大会の開催などに伴い、利用者数、大会開催数とも過去最高の実績をあげている。</p>								

## 6 総括評価

- 利用状況に応じた料金設定や柔軟な営業時間、地域・各種スポーツ団体との連携や広報活動の充実など、円滑な管理運営に取り組んでいる。また、良好な施設環境を維持するため、独自に備品整備を行うなど、収益を積極的に利用者へ還元するとともに、自主事業として、スポーツ大会や施設無料開放イベントを開催して、県民がスポーツに親しめ、利用しやすい施設の提供に積極的に取り組んでいる。
- 危機管理全般に対応するため、危機管理マニュアルを策定し、定期的に消防・避難訓練を実施、AED取扱講習を受講したスタッフを配置し、施設利用中の事故に迅速に対応できる体制を整備している。
- 競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、利用者の安全対策や利便性の向上に対応した修繕などを適切に実施している。また、利用者アンケートの実施や各施設に設置した意見箱により利用者の意見、要望を把握し、可能な限り運営業務に反映させることで、利用しやすい施設の提供に努めている。
- 省エネルギー・リサイクルの徹底による維持管理費の削減などに努めている。また、期間パスポート(水泳場)及び定期券(水泳場及び三重交通G スポーツの杜 鈴鹿及び伊勢のトレーニングルーム)を発行するなど、利用者サービスの向上を図るとともに、営業時間の延長、休業日の縮小、多種多様なスポーツ教室の開催など、利用者ニーズに対応した施設運営に取り組んでいる。
- 成果目標については、目標を達成できなかった年度があるものの、利用しやすい施設の提供に努め、利用者サービスや施設運営の機能向上など、指定管理者として積極的に改善に努めていることから、一定の成果を残している。  
三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けて、全国高等学校総合体育大会開催の経験を活かして、利用者にとって、さらに使いやすい施設となるための努力が必要である。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
  - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
  - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
  - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」  
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
  - 「B」 → 当初の目標を達成している。
  - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
  - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
  - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
  - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。